



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2579 回例会 2012 年（平成 24 年）8 月 7 日（火）

- 点 鐘：宮坂 伸
- 司 会：小口泰史
- 斉 唱：君が代、手に手つないで
- ラッキーNo.：No. 11 北澤洋之介
- 皆 勤 祝：尾関秀雄 32 年・宮坂宥洪 27 年
- 誕 生 祝：濱 俊弘・牛山幸一・北澤洋之介



誕生祝

会長挨拶

先日、「岡谷市福祉大会」に出席して参りました。岡谷 RC に案内があったからであります。その席上、講演をされた食文化研究家の永山久夫氏が冒頭、次のようにお話しされたことが大変喜ばしいニュースと感じました。それというのは「政府はこの度ユネスコの無形文化遺産に日本人の伝統的食文化であるいわゆる「和食」を登録するためにユネスコに推薦した」との事です。和食にはバランスのいい健康食としての価値はもとより、日本の風土に根差した多様な食材が新鮮なまま使用されるとか、また自然の美しさや季節の移ろいが表現されていることなど、その価値は類を見ないものが打ち出されていることから是非登録されて欲しいものだと願っております。

また、福島第一原発事故で風評被害を受けている日本食の信頼回復がなされ、東日本大災害からの復興シンボルとして世界にアピールする目的もあるようです。早ければ来年の秋には、登録されるかどうかが決まるそうですが、和食の文化が我が国の国力の礎となり、我々はそこに自信を持つと共に和食文化を楽しんでいきたいものであります。ありがとうございました。

幹事報告

- ・本日例会終了後にクラブ事務所にて理事会を開催します。

委員会報告

宮坂ガバナー・エレクト 先般、来年のガバナー年度の地区大会のホストクラブの内諾得ていた、あづみ野 RC へご挨拶とお願いを兼ねて訪問してきました。訪問当日の理事会で実行委員長が決まったという良いタイミングでした。来年 10 月 20 日開催です。今から予定をしていただき、立派な地区大会にしたいと思います。よろしくお願ひします。

クラブフォーラム

ロータリー情報委員会

ロータリーの友 8月号 (梅垣和彦副委員長)

◆P 6～P10 会員増強成功の秘けつ

◆P11～P16 こうして会員増強に成功しました！

◆ロータリーの基礎知識 日本編 「新会員のためのガイド」

ロータリーとは その原点を探る (白鳥修次委員長)

ロータリーとは何ぞや？と聞かれて、私を含めて的確に答えられる会員はなかなかいないと言われています。そこで、皆さんと一緒に勉強をしていきたいと思ひます。

まずロータリーができたのは、1905年2月23日ポールハリス等4人の友達と語らって作りました。当時の時代的背景は19世紀半ば、イギリスからはじまった産業革命がアメリカにもいち早く伝わりました。それは資本家と労働者の対立の構図で資本主義といわれるようになりました。

資本家はいかに利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代であり、騙すよりも騙される方が悪いという風潮がまかり通っていました。

ポールハリスは29歳の時、弁護士を開業しましたが、人をなかなか信頼できない風潮のなかですから、彼も本当に腹を割って話す友達が出来ませんでした。そこで、38歳の時友達と話し合っ親睦を目的にロータリークラブを作ったのです。クラブを作って暫くすると、会員同士は勿論、これはという企業と商取引をはじめました。これは自己中心的で閉鎖的な物質的互惠主義であり、社交クラブのような組織でした。全米で雨後のたけのこのように乱立しました。しかし、その大部分は消滅してしまいました。

1906年4月、ドナルド・カーターが「社会の利益になることを考える組織は発展するが、自分たちのことだけを考える組織には将来性はない」と主張。1908年、アーサー・フレデリック・シェルドンが入会して、職業奉仕理念を提唱することになります。彼は1868年生まれで(ポール・ハリスと同じ年生まれ)小学校卒業からミシガン大学経営部販売学科卒業。トップ卒業でした。

卒業後書籍の販売をした後 1902 年シェルドン・ビジネススクールを設立しました。「He profits most who serves best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を体系的に教えました。1908 年ロータリークラブに入会し、このフレーズの普及に努めます。ロータリークラブはこのフレーズを 1911 年ロータリー宣言として採択します。彼の職業奉仕理念はロータリーの職業奉仕理念の中核となりました。

自分の事業を通じて社会に奉仕すること、即ち奉仕の実践をするために事業をしている。人間関係学から見た利益の適正再配分、即ち得た利益を事業主が一人占めするのではなく、事業に関係する人たちと適正にシェアをしながら、事業を進めていけば、その事業は発展し継続していく。

He profits most who serves best

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

ロータリーが好きになる10カ条

1. 毎週一回の例会に出来るだけ出席して、交友と親睦を深める。
2. その他のロータリーの会合(IM、地区協議会、地区大会など)にも出来るだけ出席して、更に視野を広げ、感動の機会に接すること。
3. 例会の時間を大切にし、意義あるものにする。(これは会長の指導力にもよる)
4. ロータリーソングを大きな声で歌うこと。
5. 卓話の時間・・・たとえ、話が面白くなくても、帰らずに聞いてあげること。そして自分の場合はどうするかを考える。
6. 卓話は嫌がらずに、むしろ積極的に引き受けること。
7. 楽しいことや、いいことがあった場合は、進んで気持ちよくニコニコボックスをはずむこと。
8. 自分の不得意とすることに、少々無理をしてでもいいから、ぶつかってみること。(たとえば、委員長などを引き受けた場合、出来るだけ職責をこなすよう努めること。・・・一生懸命努力して、うまくこなせた時の満足感は忘れられません)
9. ロータリーに関して分からないところがあれば、遠慮なく先輩に聞くこと。
10. 「ロータリーの友」を読んだりして、自分でも勉強すること。

ニコニコボックス

小野 仁・武井利夫 毎年、山岡さんの囲碁の優勝が市民新聞に載っています。20勝3敗、優勝おめでとうございます。

山岡正邦 へぼ碁が新聞に載ってしまったので。

井上保子・梅垣和彦・大橋正明・小口成人・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・北澤洋之介・北村正春・小松純一・小松正二・佐伯克己・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 なでしこあと1つ、ガンバレ!

小林純一 8月1日が当行の創立記念日となります。創業月として気持ちを新たにしたいと思います。

宮坂 伸 8月8日が当院の創業記念日です。地域の方々のお世話になっております。

濱 俊弘 創業月です。

出席報告

会員数45名、出席者37名、出席率82.22%、前々回訂正88.89%

2012-2013年度R Iテーマ
奉仕を通じて
平和を

